

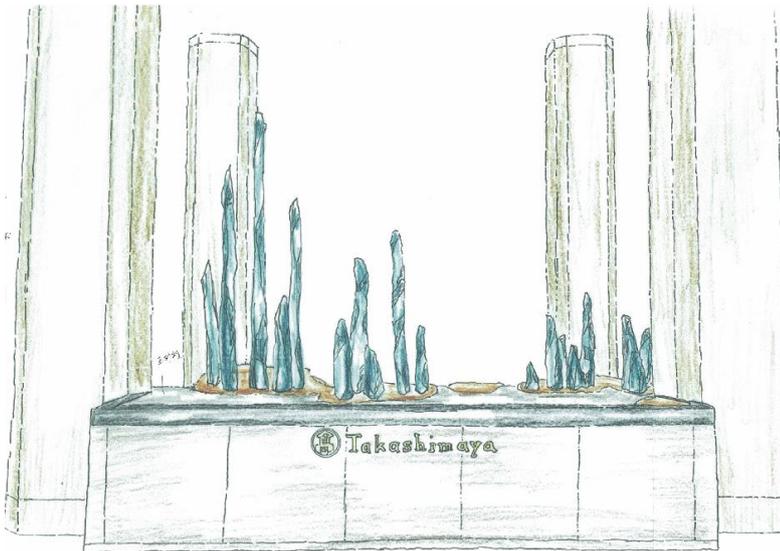
2017年5月

日本橋高島屋1階正面ホールにリサイクルガラスのパブリックアートが出現！  
アートと最先端の産業がコラボレーション。

# 西中千人「一瞬に煌めく永遠」 ～ガラスアートの瞑想空間へ

・会 期:5月31日(水)～6月20日(火)

・会 場:日本橋高島屋1階正面ホール



1階正面ホール展示イメージ



作品の一部

ガラス工芸作家<sup>にしなかゆきと</sup>西中千人氏が、日本橋高島屋1階正面ホールのために制作された作品が、5月31日(水)から登場します。西中氏がパブリックスペースに作品を発表されるのは初めてのことで、様々な制約(展示ステージ荷重制限1.5tなど)のもと、作品のイメージを構築されました。

目の前に広がるのは、大小幾筋ものガラスのオブジェが起立する瞑想の空間。見る人の感覚や認識を開放し、自由なイメージの宇宙へと誘います。

今回西中氏とコラボレーションしたのが、ガラスの循環型社会を担う1930年創業の日本耐酸壘工業株式会社。ガラスのリサイクル率はいまや70%以上で、再利用を繰り返すことで、人間社会の中を循環しているともいえます。今回の作品素材となったガラスも、すべてリサイクルガラスを使用しています。アートが日本企業の最先端技術と融合することで生まれた空間は、「地球資源の循環型社会」に思いを巡らす契機となるかもしれません。6月の環境月間にもふさわしいアート作品を、どうぞご覧ください。また、1階正面ホールでの作品展示後6月21日(水)からは、6階美術画廊にて西中氏の個展も開催いたします。



## 西中千人ガラス展「破天」—天をも破り、未踏の地へ

- ・会 期:6月21日(水)~27日(火)
- ・会 場:日本橋高島屋6階美術画廊

西中千人は、「ガラスの呼継」で、不完全な美を追求し続けています。今展では、呼継から派生した「転生」で、ヒビを余白として生命の強さや儚さを語ります。

このほか、光の粒で生命の煌めきを表現した「ヒカリ包む」、命、資源の循環をテーマとした「一瞬に煌めく永遠」など、「ガラスは割れる 人は死ぬ。だから、今この一瞬を生きる」をメッセージとした作品群を展覧いたします。

西中千人

### 転生「焰」

#### <西中千人氏プロフィール>

1964年和歌山市生まれ。星薬科大学薬学部卒業。カリフォルニア芸術大学でガラスアートと彫刻を学ぶ。ヒビで命の煌めきを表現した、

「ガラスの呼継」でWIRED主催「CREATIVE HACK AWARD2013」グラフィック賞を受賞。その後海外アートフェアでも「ガラス呼継」が注目を集める。2014年、吉川美術館 爲三郎記念館での西中千人展は、ガラス=光を取り入れた日本庭園と数寄屋建築の中でのインスタレーション「夢で見た花」「補陀落」が話題に。日本耐酸壘工業との共同プロジェクト、リサイクルガラスを用いたアート作品第1号、ガラスの日本庭園「ヒカリ溢ルル」が2016年、板室温泉大黒屋に設置された。



「補陀落」吉川美術館



「夢で見た花」吉川美術館

### 日本耐酸壘工業株式会社

岐阜県大垣市で創業86年を迎えるガラスびん製造会社。創立当時は、日本の工業系輸送容器であった耐酸ガラス壘の需要8割を製造供給する。現在は、自動製壘機による栄養ドリンク等の小びんを主要製品としている。毎分370本(小びん)の生産技術力を持ち、世界最速の生産スピードを維持、世界各地で技術指導を行う。

【お問合せ】 日本橋高島屋 TEL(03)3211-4111 (代表)